

令和3年度 授業改善推進プラン(課題分析と授業改善策)

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味や使い方への理解、既習の漢字を正しく読み書きすることが課題である。 説明的文章について、文章全体の構成を把握したり、自分の考えをまとめたりしながら読むことが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① タブレットのドリルパーク等を活用し、言語的なスキルの基礎を身に付ける。モジュールの時間に扱うなど、繰り返し取り組ませることで定着を図る。言語に触れる機会を増やすために、並行読書や対話を指導計画に位置付ける。 ② 説明的文章の内容や構成に着目して読み、必要な情報を見付けたり文章から具体的に想像したりする活動に重点を置く。内容や説明の仕方のよさに気付かせ、学んだことを活用して書く活動を行う。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 地図やグラフ、年表等の扱いに慣れておらず、資料から様々な事象を読み取ることが課題である。 客観的な事実に基づいて考えを組み立てていく力に課題がある。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ICTを活用し、様々な資料に触れさせ、分かることを見付けたり、視点を変えて資料を読んだりする活動を取り入れる。また、資料を活用し、必要な情報を調べ、まとめ、交流する活動を行う。 ② 自分の住む地域と比較したり、自身の生活とどのように結び付けていくかを考えさせたりすることを通して、思考・判断・表現力を育む。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素の名称、垂直の意味、半径の長さがすべて等しいこと、速さや人口密度の求め方など、基礎的な知識理解ができていない。そのため、それらを活用しての問題解決することが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 7月実施の東京ベーシック診断テストの結果から明らかになった各学年の課題を共通理解し、関連する授業内容の際に、習熟度別のどのグループでも復習を行ったり、習熟問題に取り組んだりする。 ② 知識の活用や数学的な思考力を高めるために、自分の考えと友達の考えを比較検討したり、それらの話し合いからまとめを導き出したりする思考の流れを作る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験に意欲的に取り組む児童は多い。しかし、観察・実験の結果からどのようなことが明らかになったのか、どのようなことが考えられるのか説明することが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 課題解決学習の流れを組み立て、一人一人が結果を基に考察する時間を確保し、自らの考えを表現させる。 ② どのような観察・実験をすると、課題が解決できるのか考えさせる。また、結果からどのようなことが考察されるのか観察・実験の事実をもとに結論を導き出す。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 学校内の様子や学校生活を支えている人への気付きが少ない。体験活動は、意欲的に取り組むが、活動したことを実生活に生かしていくことが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 校外学習や校内探検を充実させ、意識的に学校の内外の様子に関心をもたせ、自分の生活との関わりについて考えさせる機会を設定する。 ② 学習したことを日常生活に生かすような単元計画の工夫や計画的な掲示で学んだことを共有できる場を設定する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 感染症拡大防止のため、歌唱・器楽(鍵盤ハーモニカやリコーダー)の学習に制限があるため、技能の習得に個人差がある。 鑑賞の学習では、知覚と感受を結び付けて音楽のよさや面白さについて自分の言葉で表すことが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 音楽を聴くことや運指の学習は授業で行い、練習は家庭学習とするなど学習方法の工夫をしていく。また、タブレットの録画機能を使い、児童の演奏を確認し助言できるようにする。 ② 音楽の何を聴き取るのかを焦点化し、ねらいを設定していく。その上で児童が聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けられるよう、板書や掲示物を工夫し、児童の言葉を引き出していけるようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんで創作活動をしている。題材のテーマや材料と向き合い、自分らしい工夫を作品に取り入れようと試行錯誤しながら表現することが課題である。 鑑賞の学習では、友達の作品のよさを具体的に伝えることが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 児童が主体的に取り組めるよう、導入でめあてと学習のポイントを確認するとともに、必要に応じて実際にやって見せる。また、材料や道具の使い方を教え、表現のヒントとなるようにする。 ② 様々な材料を用意したり、ICT機器を活用した導入を行ったりするなどの外的なアプローチと共に、声掛けや相互鑑賞を通した内面からのアプローチを行うことで、作品に対する思いが深まるように個に応じた支援を行っていく。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 裁縫では、手先が器用ではない児童が多く、技能の習得や作品の完成度に個人差がある。学習したことを家庭での実践につなげていくことが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 2年間で継続的な指導を行う。教具の工夫や、動画の活用を通して、視覚的に理解できるようにする。児童同士の教え合いを充実させたり、教師による個別指導を行ったりする。 ② 家庭での実践につなげられるような題材の工夫をするとともに、児童が実践を伝え合ったり、よい実践を紹介したりする場を設定する。

<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果から敏捷性や柔軟性に課題が見られた。様々な動き方や体の使い方の経験が少ない。 ・ねらいを達成したり、課題を克服したりするために練習の仕方や作戦を自ら考えて運動ができるようになることが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 多様な運動経験を積ませていく。よい動きのポイントとなる資料(動画・写真等)やモデルを示し、視覚的に身体はどこをどう動かせばよいか理解させたり、コツを考えさせたりする。グループやペアで互いの動き方を見合わせることで客観的に振り返ることができるようにする。 ② それぞれの課題に沿った運動のヒントとなるものを提示する。作戦ボードやワークシートを活用し、考えたり、考えを共有したりする時間を設定する。
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発音に自信をもてなかったり、フレーズの定着が不十分だったりするため、コミュニケーションに消極的なことが課題である。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 単語だけでなく、フレーズで発音練習をする。ALT の発音を繰り返し、よく聞かせて発音できるようにするとともに大人対子供たち全員で十分にやり取りをして、フレーズに慣れ親しんで定着させる。その上でアクティビティに入るようにする。 ② 英語の音に十分に慣れ親しみ、コミュニケーションの基礎となる英語表現を多く口にさせることで自然なやりとりができるようにする。